

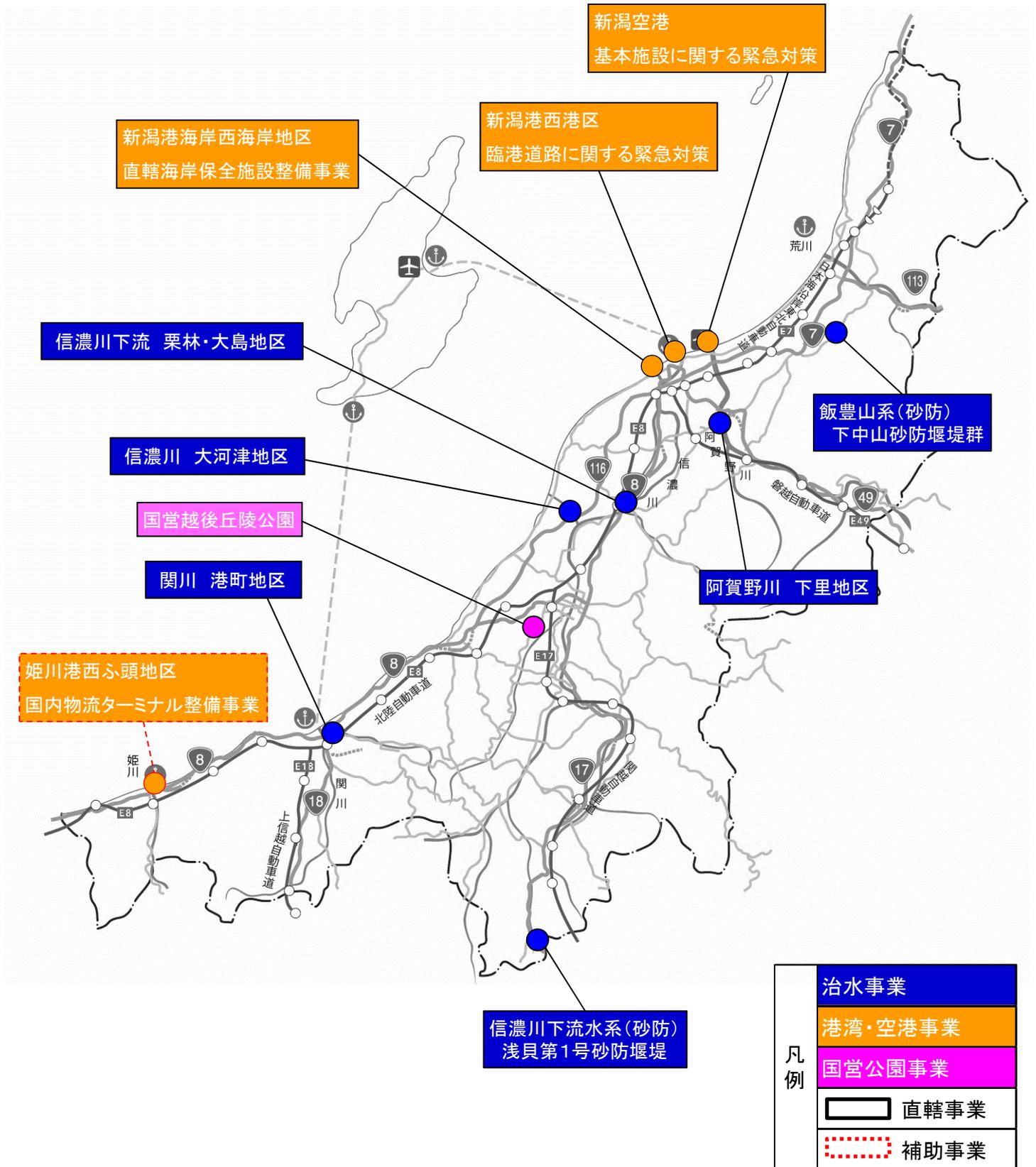
北陸地方整備局

平成30年度第2次補正予算

主要事業

[参考資料]

新潟県内の主要事業



あがのがわ 阿賀野川 河道掘削の推進

にいがた あがの さがり
新潟県阿賀野市（下里地区）

H30補正事業費
375百万円※1

※1:阿賀野川河川改修事業のH30補正全体事業費

事業の概要

あがのがわ
阿賀野川では、平成23年7月新潟・福島豪雨において、観測史上最大の流量を記録しました。あがのしきがり
阿賀野市下里地区では水防活動を実施しており、洪水を安全に流下させるための断面が不足していることから、洪水時の水位を低減、洪水の安全な流下を図るための河道掘削が必要となっています。

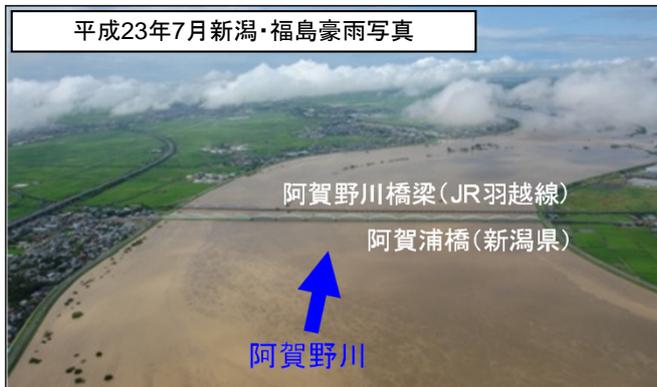
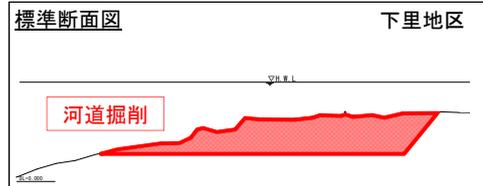
このため、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」（※2）の「全国の河川における洪水時の危険性に関する緊急対策（河道等）」の一環として、引き続き河道掘削を推進します。

整備効果

河道掘削の推進により、あがのがわ
阿賀野川の治水安全度を向上させます。

平成30年度補正予算の事業内容

さがり
下里地区の河道掘削を推進します。



※2:「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」

➤ 詳細は右記にてご覧いただけます <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/jyuyouinfura/index.html>

しなのがわりゅう
信濃川下流 河道掘削の推進
 にいがた さんじょう くりばやし おおしま
新潟県三条市 (栗林・大島地区)

H30補正事業費
 542百万円※1

※1: 信濃川下流河川改修事業のH30補正全体事業費

事業の概要

しなのがわりゅう
 信濃川下流域では、平成23年7月新潟・福島豪雨出水において本川の保明新田から五十嵐川合流点までの区間で計画高水位 (HWL) を超過し、危険な状態となったことから、洪水時の水位を低減、洪水の安全な流下を図るため、河道掘削を実施しています。

この河道掘削による水位低減は、しなのがわりゅう
 信濃川本川に加え、平成23年7月の出水で堤防高近くまで水位が上昇した支川 (加茂川・下条川) の水位低減にもつながるものです。

このため、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」(※2) の「全国の河川における洪水時の危険性に関する緊急対策 (河道等)」の一環として、引き続き河道掘削を推進します。

整備効果

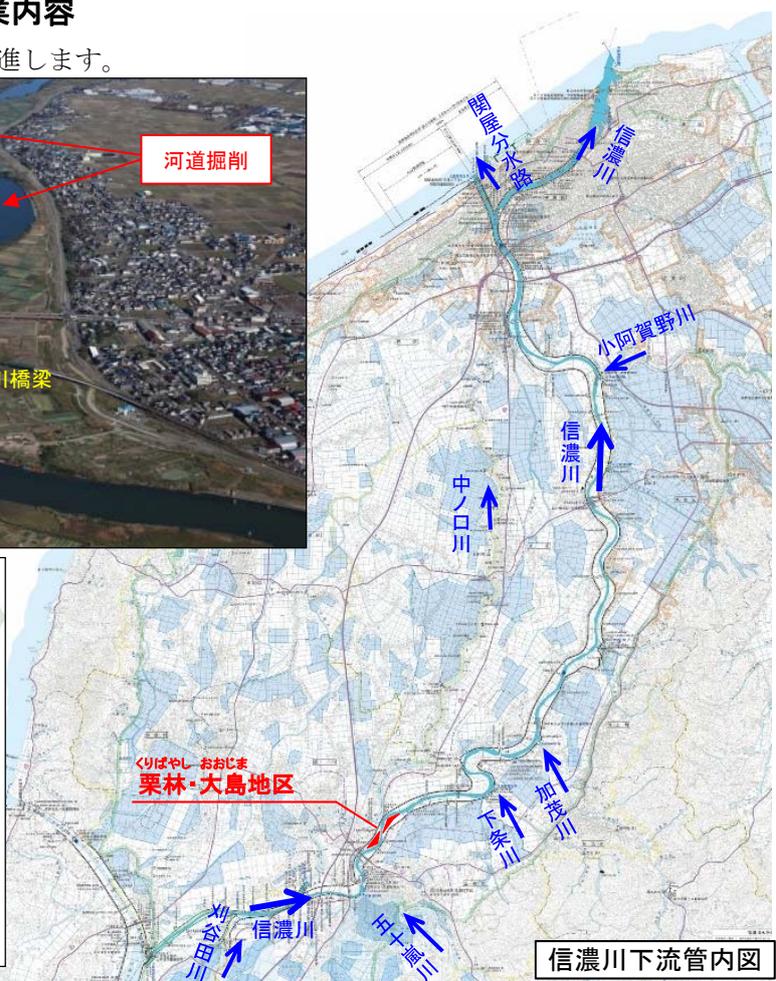
しなのがわりゅう
 河道掘削の推進により、信濃川下流域の本川、支川の治水安全度を向上させます。

平成30年度補正予算の事業内容

くりばやし おおしま
 栗林・大島地区の河道掘削を推進します。



位置図



※2: 「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」

➤ 詳細は右記にてご覧いただけます <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/jyuyouinfura/index.html>

しなのがわ 信濃川 堤防強化対策の推進

にいがた つばめ おおこうづ
新潟県燕市（大河津地区）

H30補正事業費
527百万円※1

※1:信濃川河川改修事業のH30全体事業費

事業の概要

しなのがわ おおこうづ
信濃川の大河津分水路の堤防区間では、浸透に対する安全性が低く、出水時に漏水が至るところで確認されています。大河津分水路右岸堤防については、万が一破堤した場合、氾濫による影響は新潟市街地にまで及び、甚大な被害が発生する恐れがあります。

このため、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」(※2)の「全国の河川における洪水時の危険性に関する緊急点検(堤防)」の一環として、引き続き堤防強化対策を推進します。

整備効果

しなのがわ
堤防強化対策の推進により、信濃川の治水安全度を向上させます。

平成30年度補正予算の事業内容

おおこうづ
大河津地区の堤防強化対策を推進します。



堤防川裏漏水状況(H18.7洪水時)

大河津分水路
右岸3.0k付近



※2:「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」

➤ 詳細は右記にてご覧いただけます <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/jyuyouinfura/index.html>

せきかわ
関川 堤防裏法尻の保護の実施
 にいがた じょうえつ みなとまち
新潟県上越市（港町地区）

H30補正事業費
 66百万円※1

※1:関川河川改修事業のH30補正全体事業費

事業の概要

関川水系保倉川では、平成30年7月豪雨を踏まえ、氾濫の危険性避難の困難度等の緊急点検を行い、洪水氾濫した場合に逃げ遅れの危険性が高い箇所について、越水による決壊までの時間を引き延ばす対策等を実施する必要があります。

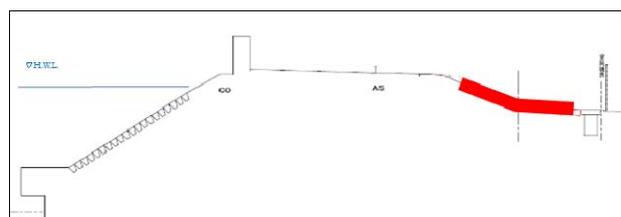
このため、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」(※2)の「全国の河川における洪水時の危険性に関する緊急点検(堤防)」の一環として、裏法尻の保護を実施します。

整備効果

堤防裏法尻の保護により、堤防決壊までの時間を少しでも遅らせることが可能となります。

平成30年度補正予算の事業内容

港町地区の堤防裏法尻の保護を実施します。



※2:「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」

➤ 詳細は右記にてご覧いただけます <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/jyuyouinfura/index.html>

しなのがわ かりゅう
信濃川下流水系直轄砂防事業の推進

にいがた みなみうおぬま ゆざわ あさかい
新潟県南魚沼郡湯沢町(浅貝第1号砂防堰堤)

H30補正事業費
107百万円

事業の概要

信濃川下流水系は、近年の豪雨等により溪流等が荒廃し不安定な土砂・流木が残存するなど、災害の危険性が高まっています。

このため、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」(※)の「全国のインフラ・ライフラインの土砂災害に関する緊急対策」の一環として、砂防設備の整備を推進し、土砂流出等の抑制を図ります。

整備効果

砂防堰堤等の整備により、インフラ・ライフラインに対する土砂災害による被害が防止され、安全性を向上させます。

平成30年度補正予算の事業内容

補正予算により、土砂・洪水氾濫対策等を実施し、早期に地域の安全性の向上を図ります。



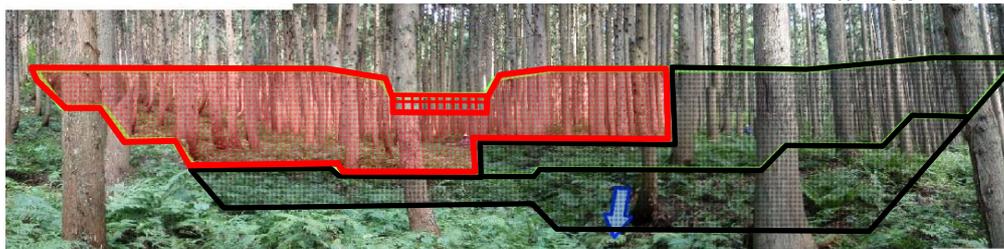
位置図



荒廃状況



保全対象



浅貝第1号砂防堰堤

※:「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」

▶ 詳細は右記にてご覧いただけます <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/jyuyouinfura/index.html>

いいで
飯豊山系直轄砂防事業の推進
にいがた しばた しもなかやま
新潟県新発田市(下中山砂防堰堤群)

H30補正事業費
100百万円

事業の概要

飯豊山系は、近年の豪雨等により溪流等が荒廃し不安定な土砂・流木が残存するなど、災害の危険性が高まっています。

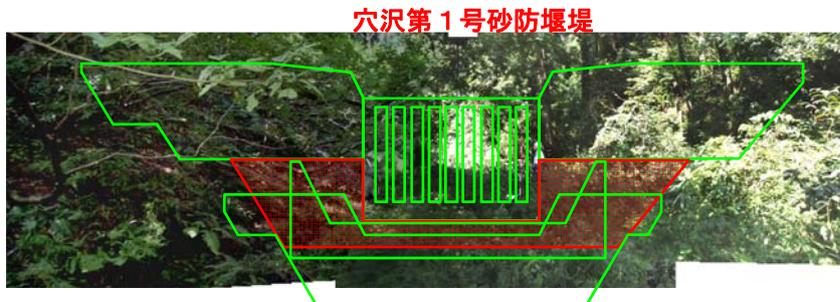
このため、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」(※)の「全国の土砂災害警戒区域等における円滑な避難の確保に関する緊急対策」の一環として、砂防設備の整備を推進し、土砂流出等の抑制を図ります。

整備効果

砂防堰堤等の整備により、避難路等に対する土砂災害による被害が防止され、安全性を向上させます。

平成30年度補正予算の事業内容

補正予算により、土砂・洪水氾濫対策等を実施し、早期に地域の安全性の向上を図ります。



堰堤計画箇所



荒廃状況

※:「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」
➤ 詳細は右記にてご覧いただけます <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/jyuyouinfura/index.html>

にいがた にしこう
新潟港 西港区
臨港道路に関する緊急対策
にいがた にいがた
新潟県新潟市

H30補正事業費
240百万円

事業の概要

重要インフラの緊急点検を行った結果、トンネル機能に支障があるため、トンネル部の改良を緊急対策として実施します。

整備効果

トンネル部の改良により災害時に港湾機能が停止することを防止します。

平成30年度補正予算の事業内容

補正予算の充当により、道路(トンネル)の改良を実施します。

【位置図】



にいがた にしかいがん
新潟港海岸 西海岸地区
直轄海岸保全施設整備事業の実施

にいがた にいがた
新潟県新潟市

H30補正事業費
150百万円

事業の概要

背後地域の土地や資産を防護するため、離岸堤<潜堤>、突堤、護岸<養浜>を組み合わせた面的防護工法により、侵食対策を推進します。

整備効果

背後地域の侵食・浸水被害に対する安全が確保されます。

平成30年度補正予算の事業内容

平成30年8月の寒冷前線に伴う波浪により被災した工事
施工中の海岸保全施設の復旧を実施します。

【位置図】



新潟港海岸 西海岸地区



ひめかわ にしふとう
姫川港 西ふ頭地区
国内物流ターミナル整備事業の実施
にいがた いといがわ
新潟県糸魚川市

H30補正事業費
700百万円

事業の概要

船舶の大型化等への対応のため、物流ターミナルの整備を促進します。

整備効果

貨物の取扱能力が向上し荷役効率化と輸送コストの縮減が図られます。

平成30年度補正予算の事業内容

補正予算の充当により、泊地の整備を促進します。

【位置図】



にいがた
新潟空港 **基本施設に関する緊急対策**
にいがた にいがた
新潟県新潟市

H30補正事業費
490百万円

事業の概要

重要インフラの緊急点検を行った結果、施設の浸水及び液状化の可能性が懸念されるため、護岸の嵩上げや排水機能強化及び耐震対策を緊急的に実施します。

整備効果

護岸の嵩上げや排水機能を強化することで浸水被害を防止するとともに、滑走路直下の地盤改良による耐震対策を行うことで、地震による被害を最小限に抑制し、被災後の早期供用が可能となります。

平成30年度補正予算の事業内容

補正予算の充当により、浸水対策及び液状化対策を実施します。

【位置図】



こくえいえちごきゅうりょう

国営越後丘陵公園

にいがた ながおか
新潟県長岡市

H30補正事業費
530百万円

事業の概要

国営越後丘陵公園は、本州日本海側で唯一の国営公園です。雪国の特性に配慮し恵まれた自然環境や交通条件のもと「天に学び、地に遊び、人と集う、越の里」を基本テーマに、自然環境を保全しつつ広域的レクリエーションや文化活動への対応を図るべく整備を進めています。

整備効果

平成10年7月の開園（29ha）以来、平成15年度までに「健康ゾーン」（約120ha）を全面開園し、平成30年6月までに「里山フィールドミュージアム」の一部（全体約280haの内、西側部分約220ha）を開園しています。

平成10年の開園から入園者数は年々増加しており、平成27年度は過去最高の55万人を記録するとともに、平成24年以降年間約50万人の入園者数を記録しています。

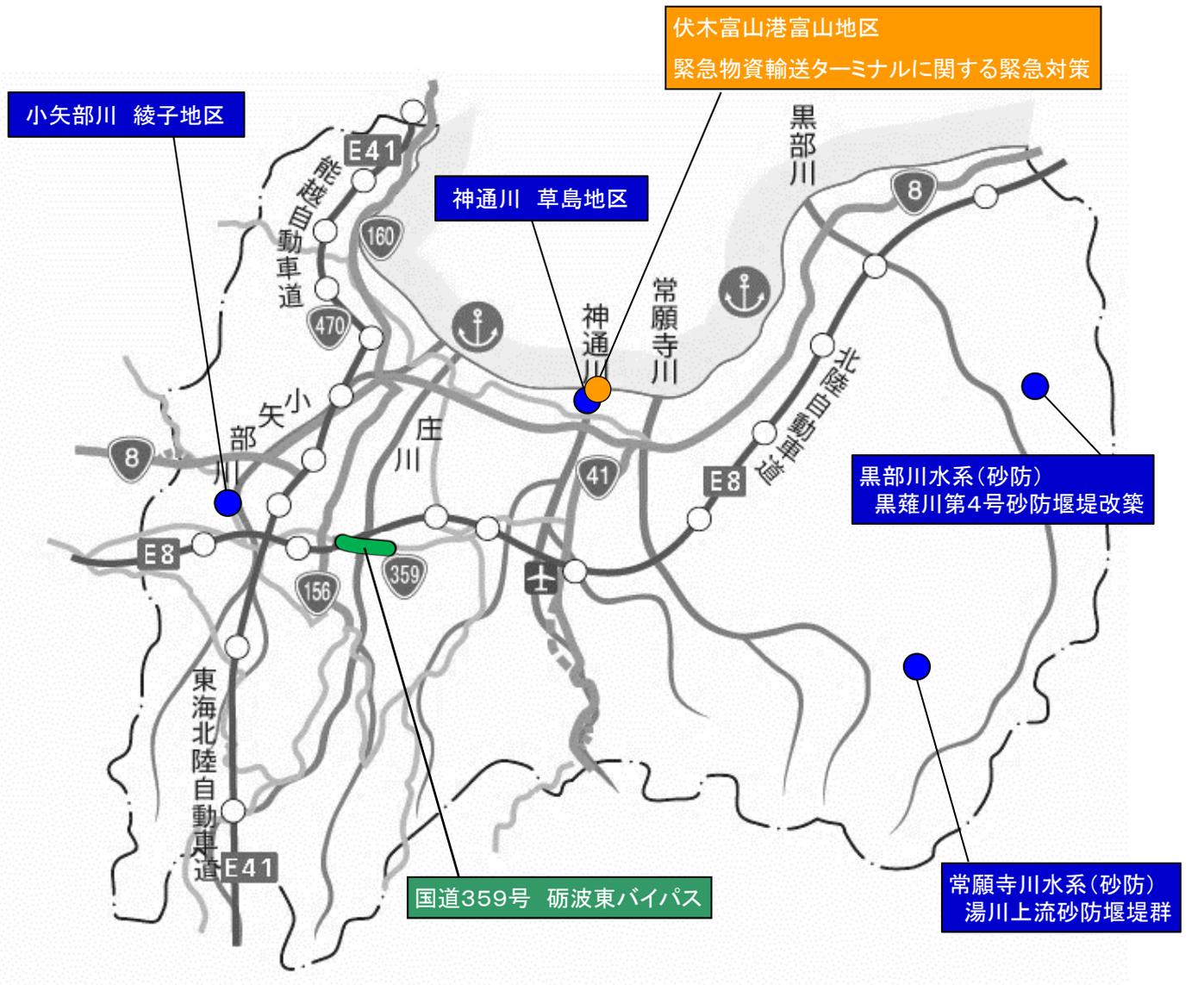
また、災害時の避難地確保や自衛隊との協定による救援活動の場の確保など広域的な防災拠点として地域防災力強化に寄与しています。

平成30年度補正予算の事業内容

重要インフラ緊急点検を踏まえ、災害時における司令塔機能等を発揮するため、非常用発電設備の整備や法面崩壊対策を実施します。



富山県内の主要事業



凡例	治水事業
	道路事業
	港湾・空港事業
	直轄事業

じんづうがわ
神通川 河道掘削の推進
とやま とやま くさじま
富山県富山市（草島地区）

H30補正事業費
435百万円※1

※1: 神通川河川改修事業のH30補正全体事業費

事業の概要

神通川下流部は、洪水時に流下の妨げとなる土砂が河床や河川敷に堆積しているとともに、堤防の幅・高さが不足している弱小堤区間を有していることから、洪水を安全に流すことができない状態にあります。

この地区は、県都富山市の市街地等を背後に抱えていることから、洪水氾濫が発生した場合には甚大な被害が予想されます。

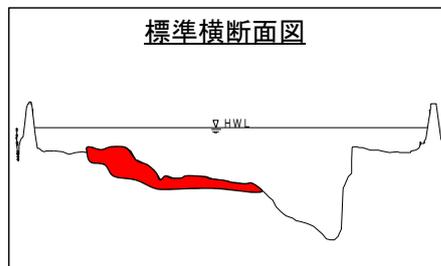
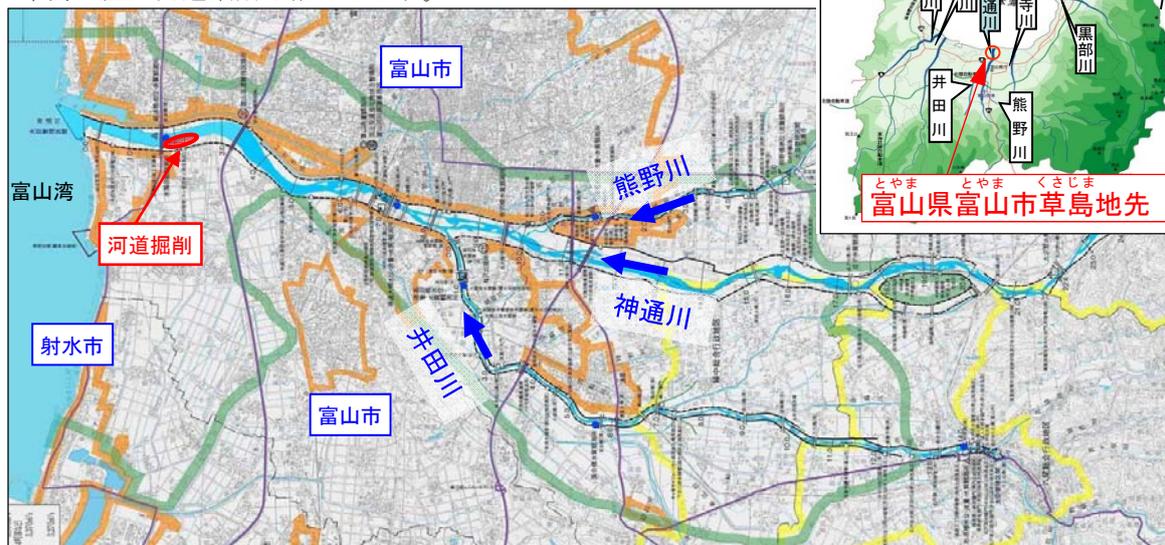
このため、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」(※2)の「全国の河川における洪水時の危険性に関する緊急対策(河道等)」の一環として、引き続き河道掘削を推進します。

整備効果

河道掘削の推進により、じんづうがわ
神通川の治水安全度を向上させます。

平成30年度補正予算の事業内容

くさじま
草島地区の河道掘削を推進します。



※2: 「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」

➤ 詳細は右記にてご覧いただけます <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/jyuyouinfura/index.html>

おやべがわ
小矢部川 河道掘削の実施
とやま おやべ あやこ
富山県小矢部市（綾子地区）

H30補正事業費
63百万円※1

※1:小矢部川河川改修事業のH30補正全体事業費

事業の概要

小矢部川水系渋江川は、洪水時に流下の妨げとなる土砂が河床や河川敷に堆積していることから、洪水を安全に流すことができない状態にあります。

このため、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」(※2)の「全国の河川における洪水時の危険性に関する緊急対策(河道等)」の一環として、河道掘削を実施します。

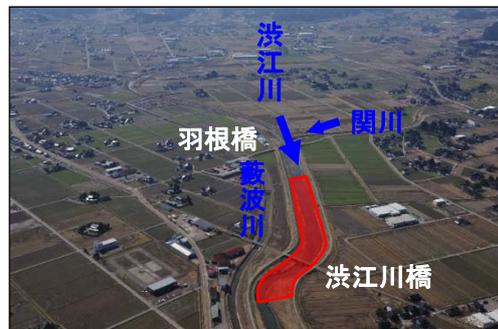
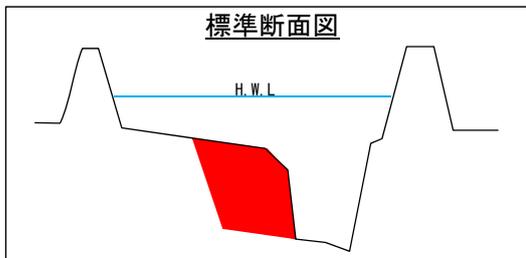
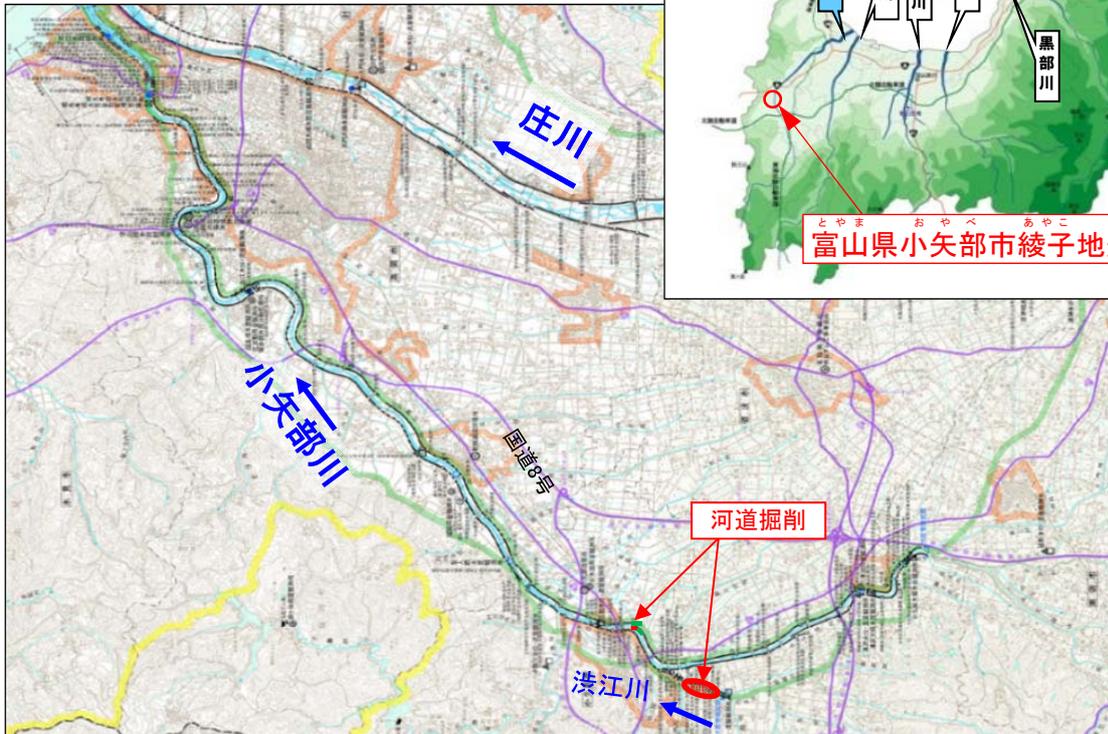
整備効果

河道掘削の実施により、小矢部川の治水安全度を向上させます。

平成30年度補正予算の事業内容

綾子地区の河道掘削を実施します。

位置図



※2:「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」

▶ 詳細は右記にてご覧いただけます <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/jyuyouinfura/index.html>

じょうがんじがわ
常願寺川水系直轄砂防事業の推進

とやま とやま なかにいかわ たてやま ゆかわ
富山県富山市、中新川郡立山町(湯川上流砂防堰堤群) H30補正事業費
144百万円

事業の概要

常願寺川水系は、近年の豪雨等により溪流等が荒廃し不安定な土砂・流木が残存するなど、災害の危険性が高まっています。

このため、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」(※)の「全国の中小河川における土砂・洪水氾濫等の危険性に関する緊急対策」の一環として、砂防設備の整備を推進し、土砂流出等の抑制を図ります。

整備効果

砂防堰堤等の整備により、土砂・洪水氾濫等から保全対象の安全が確保され、土砂災害に対する安全性を向上させます。

平成30年度補正予算の事業内容

補正予算により、土砂・洪水氾濫対策等を実施し、早期に地域の安全性の向上を図ります。



H17年 上流で発生した土石流



湯川第13号砂防堰堤



※:「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」
 ▶ 詳細は右記にてご覧いただけます <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/jyuyouinfura/index.html>

くろべがわ
黒部川水系直轄砂防事業の推進
とやま くろべ くろなぎがわ
富山県黒部市(黒薙川第4号砂防堰堤改築)

H30補正事業費
171百万円

事業の概要

黒部川水系は、近年の豪雨等により溪流等が荒廃し不安定な土砂・流木が残存するなど、災害の危険性が高まっています。

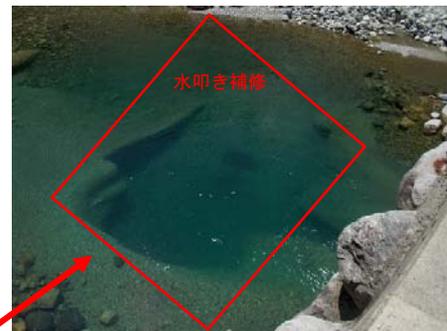
このため、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」(※)の「全国のインフラ・ライフラインの土砂災害に関する緊急対策」の一環として、砂防設備の整備を推進し、土砂流出等の抑制を図ります。

整備効果

砂防堰堤等の整備により、インフラ・ライフラインに対する土砂災害による被害が防止され、安全性を向上させます。

平成30年度補正予算の事業内容

補正予算により、土砂・洪水氾濫対策等を実施し、早期に地域の安全性の向上を図ります。



水叩工摩耗部近景



黒薙川第4号砂防堰堤改築計画



※:「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」

➤ 詳細は右記にてご覧いただけます <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/jyuyouinfura/index.html>

国道359号 砺波東バイパス事業の推進

と な み ひ が し
と や ま と な み
富山県砺波市

H30補正事業費
130百万円

事業の概要

砺波東バイパスは、国道359号の道路幅員狭小による除雪障害を解消し、冬期間における交通の確保および交通安全の確保を目的とした、砺波市荻谷から同市高道に至る延長約6.1kmのバイパス整備事業です。

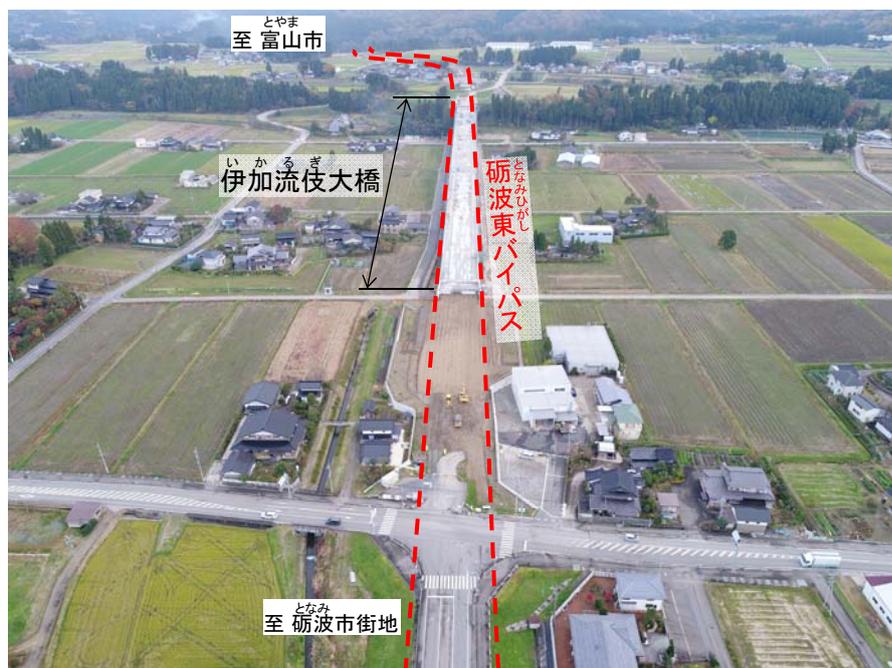
整備効果

- ・災害に強い道路ネットワークの形成
- ・急カーブ区間、道路幅員狭隘区間の解消
- ・冬期間の路肩堆雪による交通障害の解消

平成30年度補正予算の事業内容

平成31年度の開通に向け、補正予算を充当し、般若地区の改良工事（消融雪施設工事）を推進します。

ほんにや



ふしきとやま とやま
伏木富山港 富山地区
緊急物資輸送ターミナルに関する緊急対策

とやま とやま
富山県富山市

H30補正事業費
400百万円

事業の概要

重要インフラの緊急点検を行った結果、地震時の緊急物資輸送に十分対応できない恐れがある等の課題があるため、緊急対策として耐震強化岸壁の整備を実施します。

整備効果

耐震強化岸壁の整備により、大規模地震時に緊急支援物資の輸送が妨げられることを防止します。

平成30年度補正予算の事業内容

補正予算の充当により、耐震強化岸壁の整備を実施します。

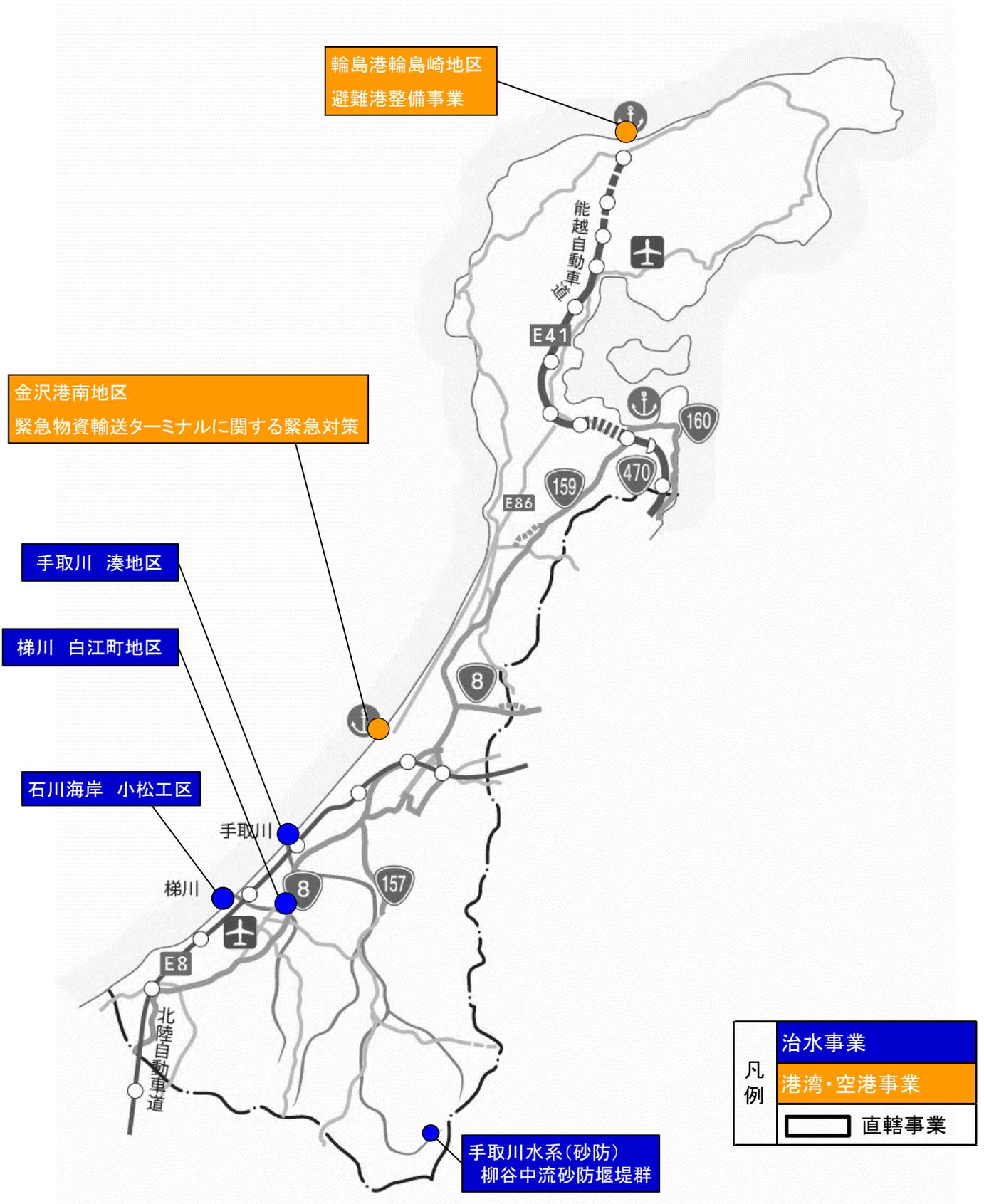
【位置図】



伏木富山港 富山地区



石川県内の主要事業



てどりがわ
手取川 河道掘削の推進
いしかわ はくさん みなと
石川県白山市（湊地区）

H30補正事業費
65百万円※1

※1:手取川河川改修事業のH30補正全体事業費

事業の概要

てどりがわ
手取川下流部は、洪水を安全に流下させるために十分な河道断面となっておらず、洪水氾濫により甚大な被害が発生する恐れがあることから、流下能力を確保するため引き続き河道掘削が必要となっています。

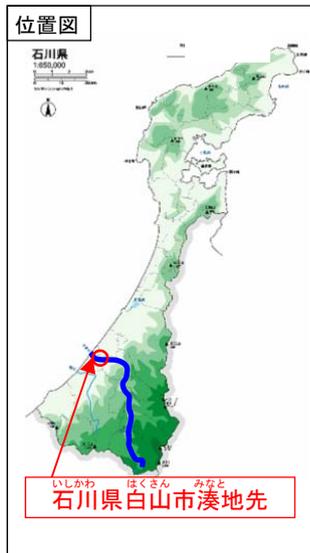
このため、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」(※2)の「全国の河川における洪水時の危険性に関する緊急対策(河道等)」の一環として、引き続き河道掘削を実施します。

整備効果

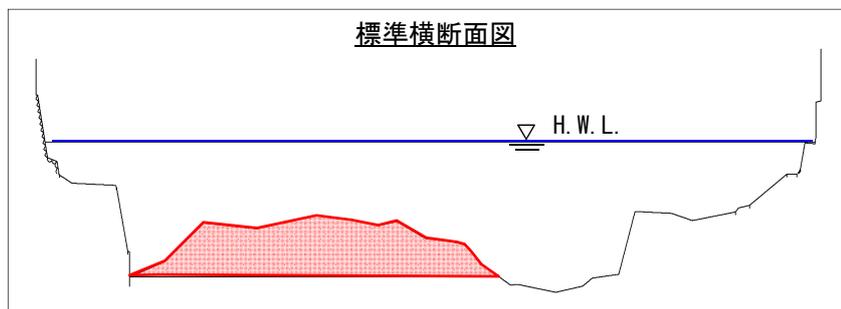
てどりがわ
河道掘削の推進により、手取川の治水安全度を向上させます。

平成30年度補正予算の事業内容

みなと
湊地区の河道掘削を推進します。



標準横断面図



※2:「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」

➤ 詳細は右記にてご覧いただけます <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/jyuyouinfura/index.html>

かけはしがわ

梯川 河道掘削の推進

いしかわ こまつ しらえまち
石川県小松市（白江町地区）

H30補正事業費
404百万円※1

※1: 梯川河川改修事業のH30補正全体事業費

事業の概要

梯川は局所的に流下能力が不足しており、洪水を安全に流下させるために十分な河道断面となっておらず、洪水氾濫により甚大な被害が発生する恐れがあることから、流下能力を確保するため引き続き河道掘削が必要となっています。近年も平成10年、16年、18年、25年、29年と立て続けに洪水が発生し、避難勧告、避難指示等が発令されています。

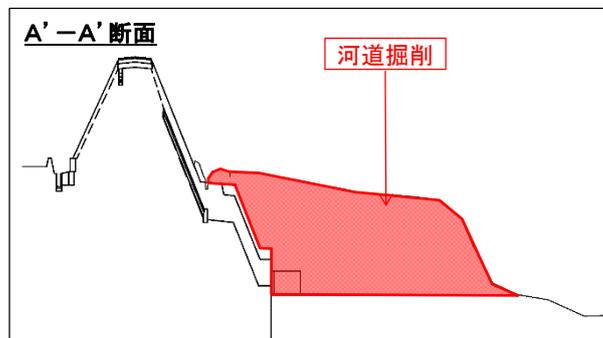
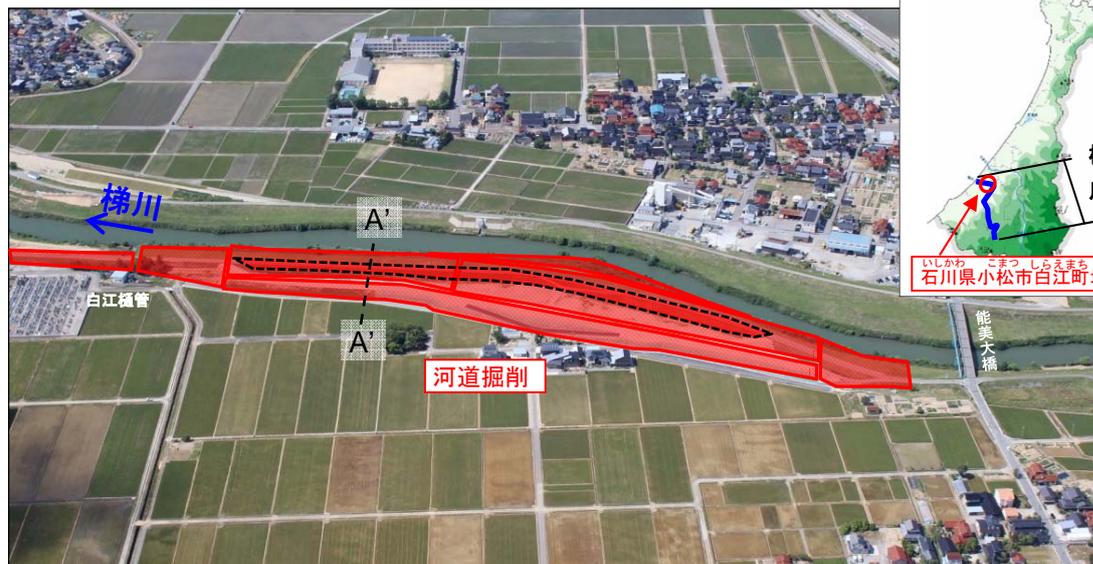
このため、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」(※2)の「全国の河川における洪水時の危険性に関する緊急対策(河道等)」の一環として、引き続き河道掘削を推進します。

整備効果

河道掘削の推進により、^{かけはしがわ}梯川の治水安全度を向上させます。

平成30年度補正予算の事業内容

^{しらえまち}白江町地区の河道掘削を推進します。



※2: 「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」

▶ 詳細は右記にてご覧いただけます <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/jyuyouinfura/index.html>

てどりがわ
手取川水系直轄砂防事業の推進

いしかわ ほかさん やなぎだに
石川県白山市(柳谷中流砂防堰堤群)

H30補正事業費
200百万円

事業の概要

手取川水系は、近年の豪雨等により溪流等が荒廃し不安定な土砂・流木が残存するなど、災害の危険性が高まっています。

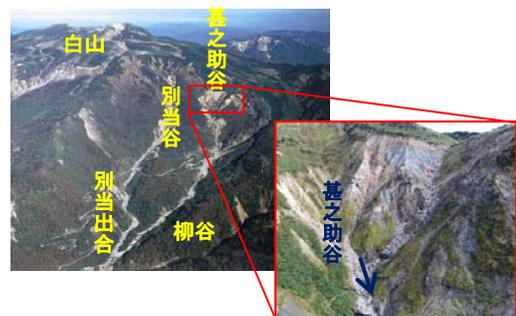
このため、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」(※)の「全国の中小河川における土砂・洪水氾濫等の危険性に関する緊急対策」の一環として、砂防設備の整備を推進し、土砂流出等の抑制を図ります。

整備効果

砂防堰堤等の整備により、土砂・洪水氾濫等から保全対象の安全が確保され、土砂災害に対する安全性を向上させます。

平成30年度補正予算の事業内容

補正予算により、土砂・洪水氾濫対策等を実施し、早期に地域の安全性の向上を図ります。



牛首川上流部の荒廃



※:「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」

▶ 詳細は右記にてご覧いただけます <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/jyuyouinfura/index.html>

いしかわ 石川海岸 人工リーフの整備の推進 (小松工区) こまつ

いしかわ こまつ
石川県小松市 H30補正事業費 80百万円※1

※1: 石川海岸直轄海岸保全施設整備事業のH30補正全体事業費

事業の概要

石川海岸小松工区は侵食が著しく、毎年のように護岸等の被災を受けています。近年は海岸沿いの砂丘地も工場地帯や住宅地として発展が著しく、高波による越波被害が発生すれば地域経済や雇用に大きな影響を与える恐れがあります。

このため、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」(※2)の「全国の海岸堤防等の高潮等に対する緊急対策」の一環として、引き続き人工リーフの整備を推進します。

整備効果

海岸保全施設整備を実施することにより、侵食対策とともに波の打ち上げ高の低減が図られ、背後地の安全度が向上します。

平成30年度補正予算の事業内容

小松工区の人工リーフの整備を推進します。



冬季風浪状況(小松工区:平成27年12月)



施設被災状況(小松市安宅地先:平成24年12月)

※2:「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」

➤ 詳細は右記にてご覧いただけます <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/jyuyouinfura/index.html>

かなざわ みなみ
金沢港 南地区
緊急物資輸送ターミナルに関する緊急対策

いしかわ かなざわ
石川県金沢市

H30補正事業費
1,898百万円

事業の概要

重要インフラの緊急点検を行った結果、地震時の緊急物資輸送に十分対応できない恐れがある等の課題があるため、緊急対策として耐震強化岸壁の整備を実施します。

整備効果

耐震強化岸壁の整備により、大規模地震時に緊急支援物資の輸送が妨げられることを防止します。

平成30年度補正予算の事業内容

補正予算の充当により、耐震強化岸壁の整備を実施します。

【位置図】



わじま わじまざき
輪島港 輪島崎地区
避難港整備事業の実施
いしかわ わじま
石川県輪島市

H30補正事業費
291百万円

事業の概要

能登半島沖を航行する船舶の荒天による海難被害を防止するため、防波堤の整備を推進しています。

整備効果

防波堤を整備することにより港内の静穏度が向上し、荒天時には船舶が安全に避泊できるようになります。

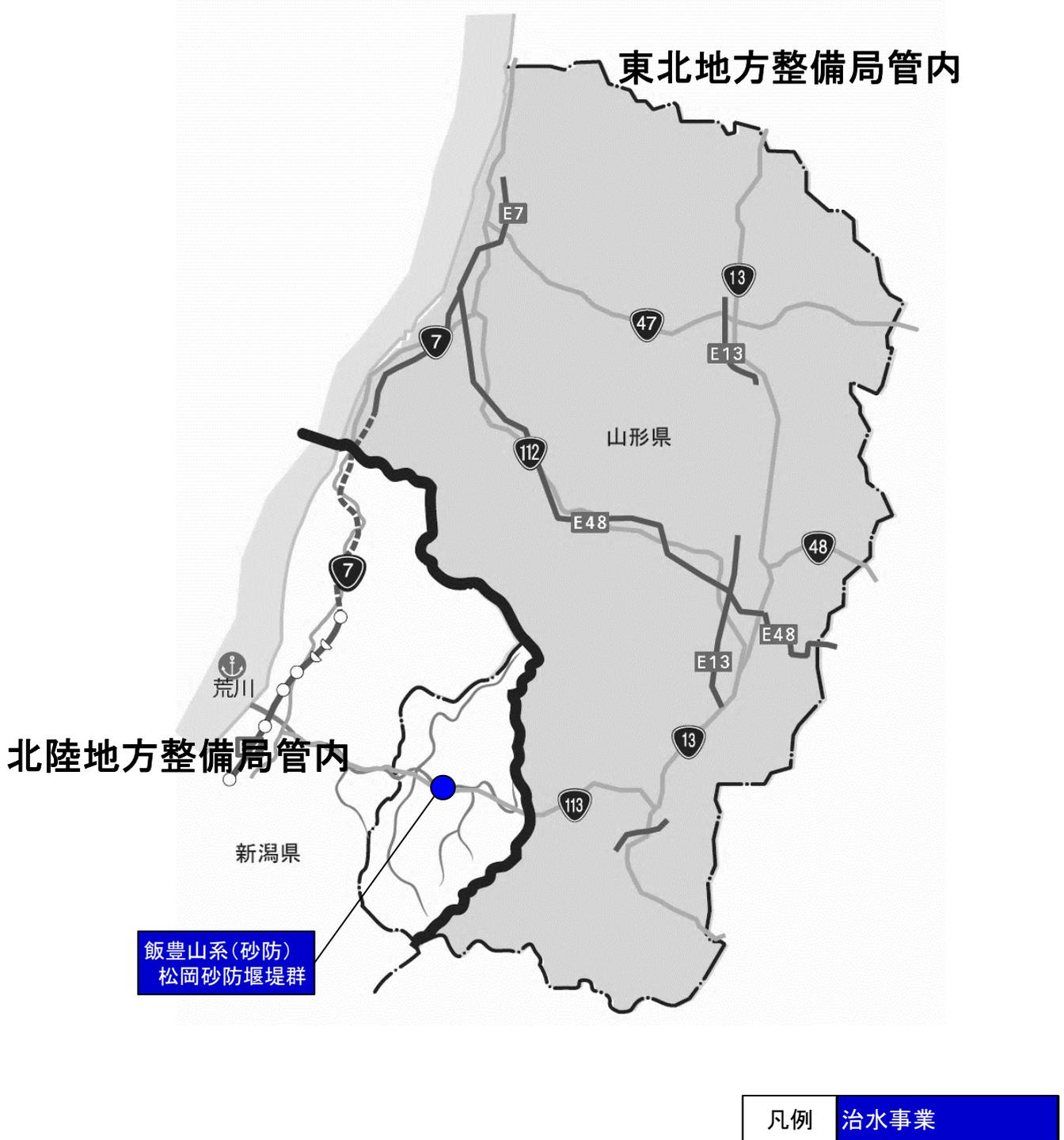
平成30年度補正予算の事業内容

補正予算の充当により、防波堤の整備を実施をします。

【位置図】



山形県内の主要事業



いいで
飯豊山系直轄砂防事業の推進
やまがた にしおきたま おぐに まつおか
山形県西置賜郡小国町(松岡砂防堰堤群)

H30補正事業費
220百万円

事業の概要

飯豊山系は、近年の豪雨等により溪流等が荒廃し不安定な土砂・流木が残存するなど、災害の危険性が高まっています。

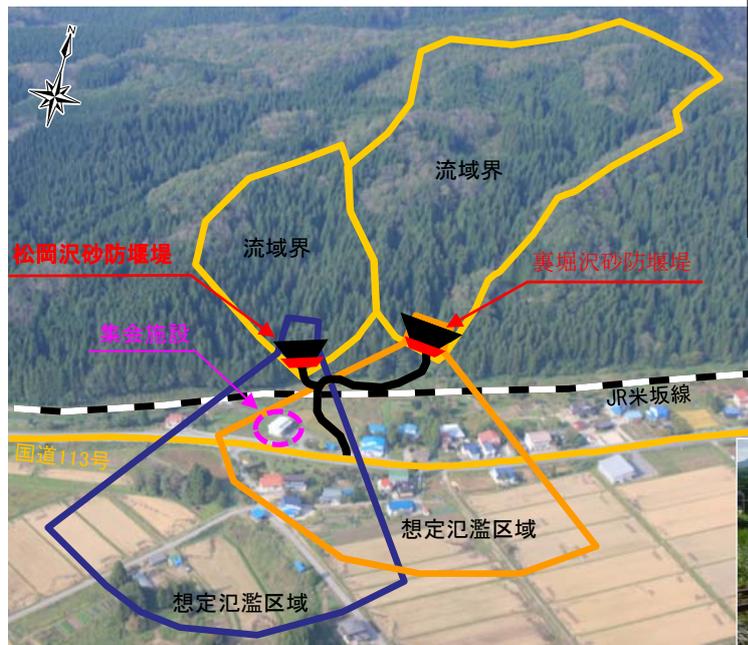
このため、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」(※)の「全国の土砂災害警戒区域等における円滑な避難の確保に関する緊急対策」の一環として、砂防設備の整備を推進し、土砂流出等の抑制を図ります。

整備効果

砂防堰堤等の整備により、避難路等に対する土砂災害による被害が防止され、安全性を向上させます。

平成30年度補正予算の事業内容

補正予算により、土砂・洪水氾濫対策等を実施し、早期に地域の安全性の向上を図ります。



位置図



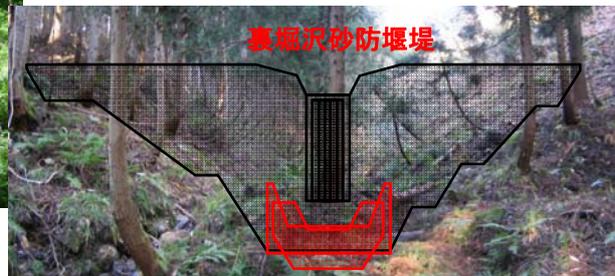
松岡砂防堰堤群



JR米坂線



松岡沢砂防堰堤



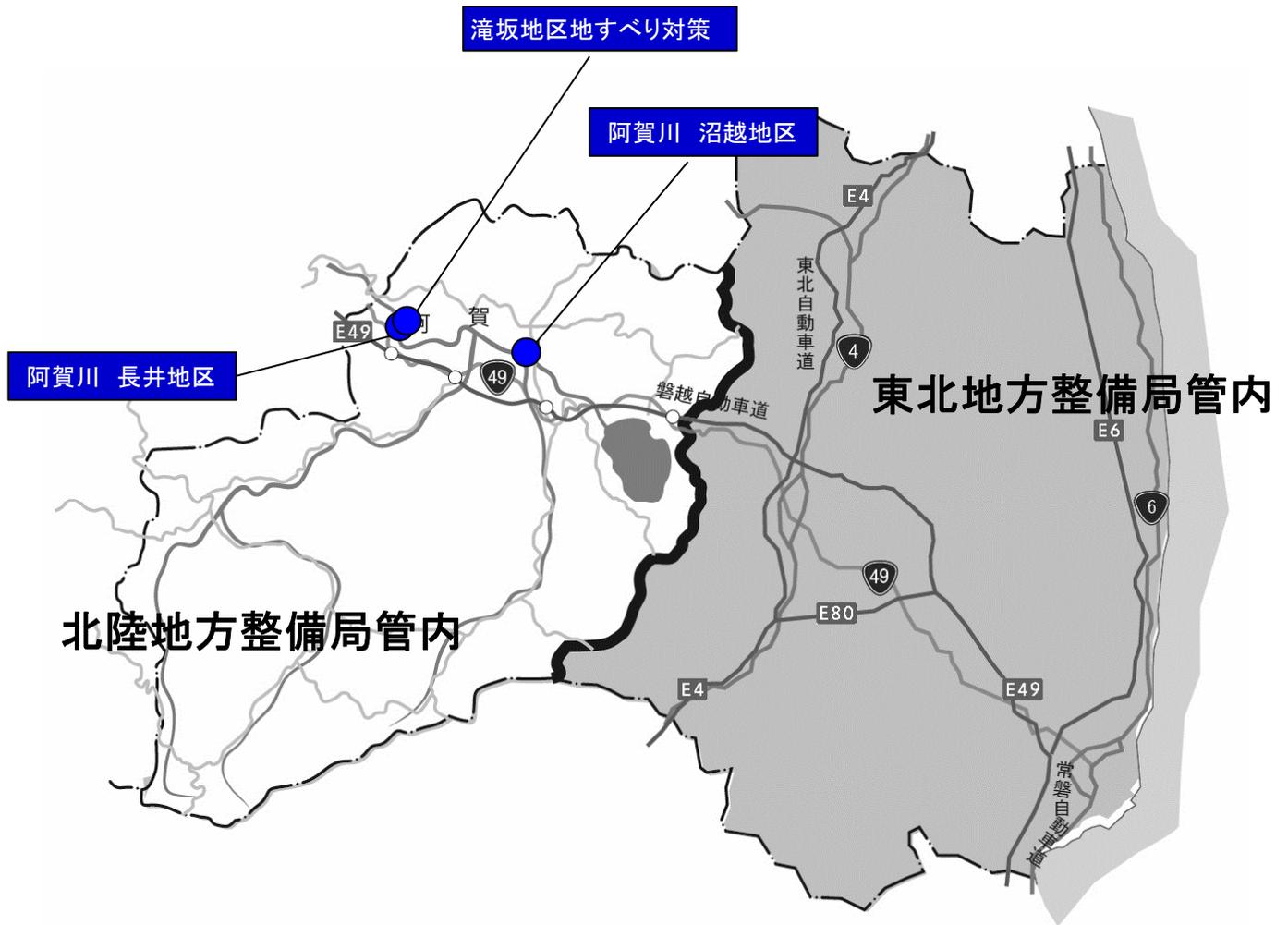
轟廻沢砂防堰堤

堰堤計画箇所

※:「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」

➤ 詳細は右記にてご覧いただけます <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/jyuyouinfura/index.html>

福島県内の主要事業



凡例 治水事業

あががわ
阿賀川 河道掘削の推進
ふくしま きたかた ながい
福島県喜多方市（長井地区）

H30補正事業費
359百万円※1

※1:阿賀川河川改修事業のH30補正全体事業費

事業の概要

阿賀川直轄管理区間の最下流部は、長井・泡ノ巻・津尻の3地区が連続する狭窄部となっており、洪水時の水位上昇により、直上流の山崎地区などで度々内水氾濫被害が生じています。

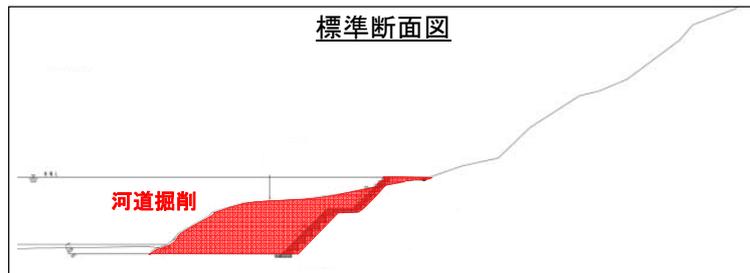
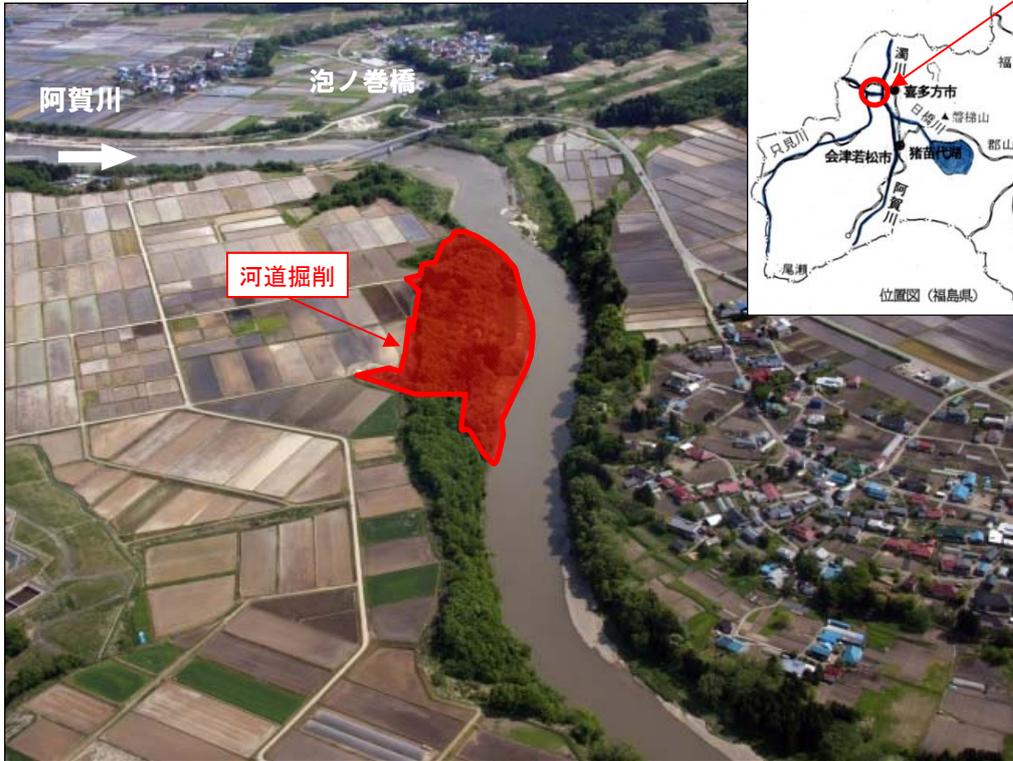
このため、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」(※2)の「全国の河川における洪水時の危険性に関する緊急対策(河道等)」の一環として、引き続き河道掘削を推進します。

整備効果

河道掘削の推進により、阿賀川の治水安全度を向上させます。

平成30年度補正予算の事業内容

長井地区の河道掘削を推進します。



※2:「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」

➤ 詳細は右記にてご覧いただけます <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/jyuyouinfura/index.html>

あががわ
阿賀川 河道掘削の実施
 ふくしま かわぬまぐん あいづばんげまち ぬまこし
福島県河沼郡会津坂下町（沼越地区）

H30補正事業費
 359百万円※1

※1: 阿賀川河川改修事業のH30補正全体事業費

事業の概要

阿賀川は局所的に流下能力が不足しており、洪水を安全に流下させるために十分な河道断面となっておらず、洪水氾濫により甚大な被害が発生する恐れがあることから、流下能力を確保するため河道掘削が必要となっています。

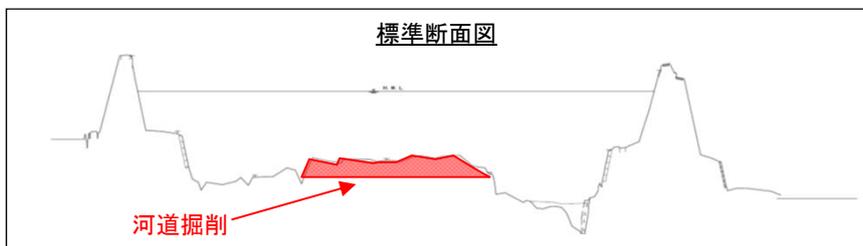
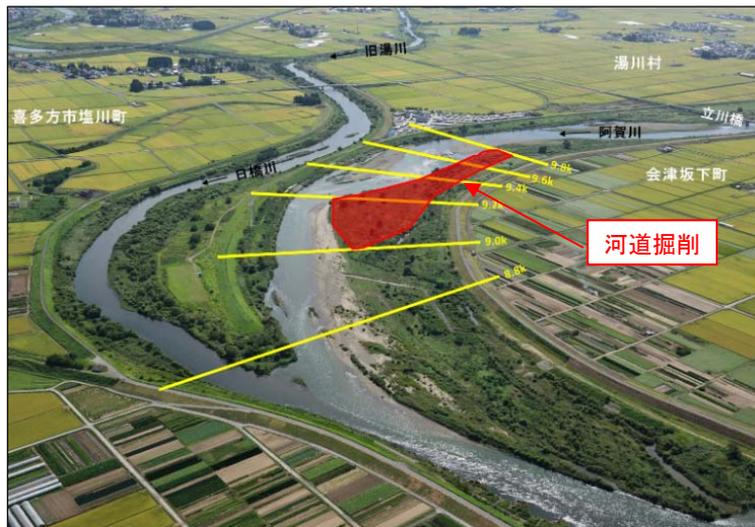
このため、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」(※2)の「全国の河川における洪水時の危険性に関する緊急対策(河道等)」の一環として、河道掘削を実施します。

整備効果

河道掘削の実施により、阿賀川の治水安全度を向上させます。

平成30年度補正予算の事業内容

沼越地区の河道掘削を実施します。



※2: 「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」

▶ 詳細は右記にてご覧いただけます <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/jyuyouinfura/index.html>

滝坂地区直轄地すべり対策事業の推進

福島県 耶麻郡 西会津町

H30補正事業費
235百万円

事業の概要

滝坂地すべりは、150haの面積を有する国内最大級の地すべりであり、地すべり活動が活発化すれば、阿賀川の河道閉塞により上下流の広範囲において甚大な被害が想定されます。

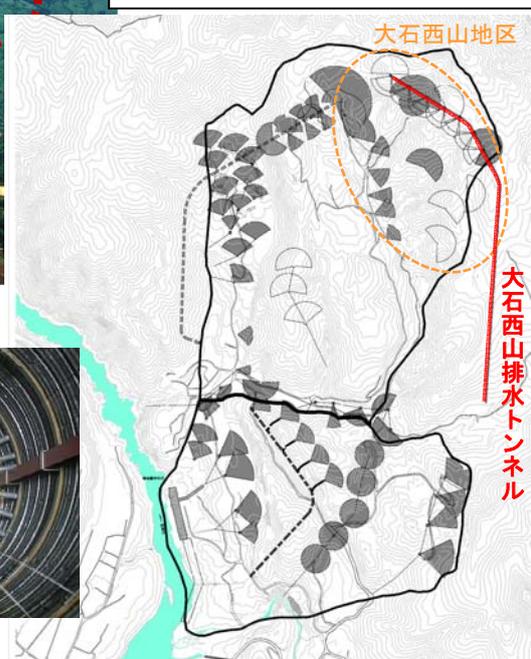
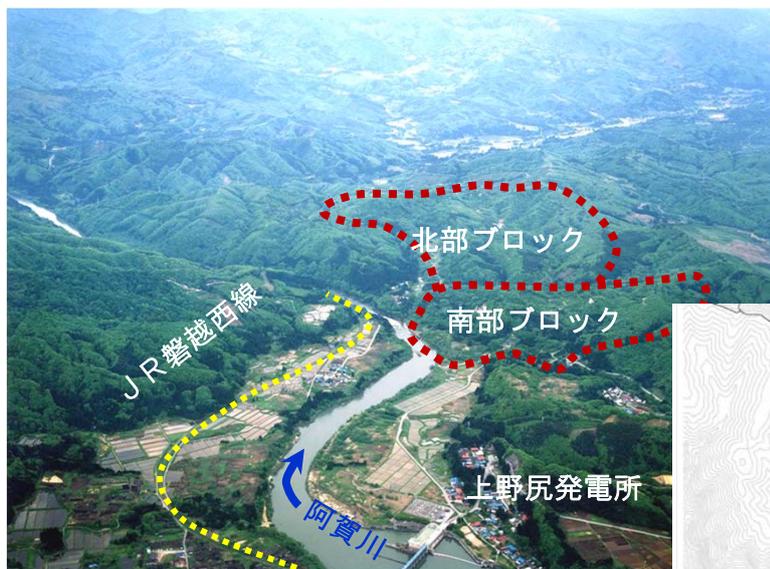
このため、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」(※)の「全国のインフラ・ライフラインの土砂災害に関する緊急点検」の一環として、重点的に地すべり対策を実施します。

整備効果

地すべり対策事業の推進により、インフラ・ライフラインに対する土砂災害による被害が防止され、安全性を向上させます。

平成30年度補正予算の事業内容

補正予算により、地すべり対策を実施し、早期に地域の安全性の向上を図ります。



大石西山排水トンネル坑口部

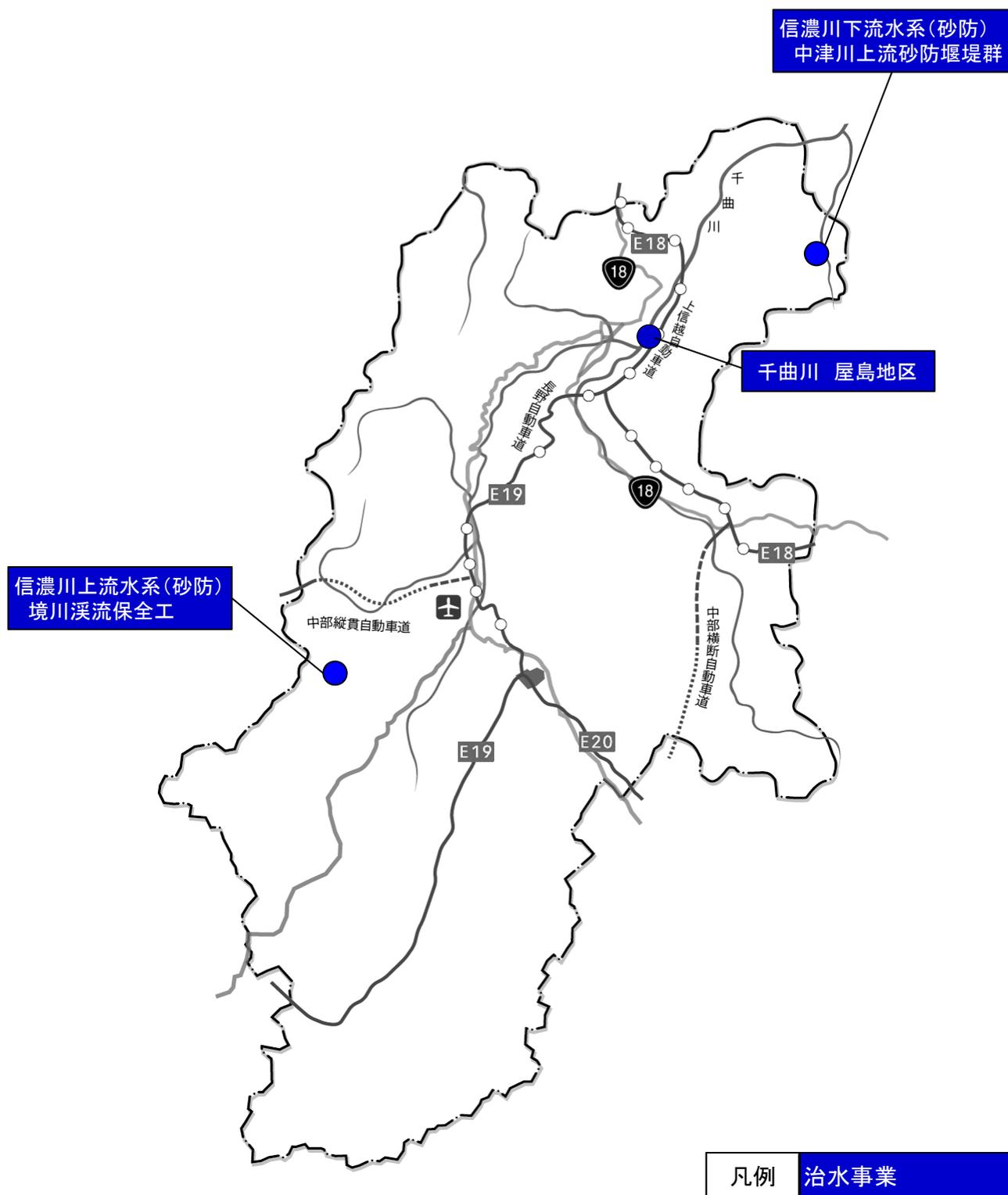


集水井

※:「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」

➤ 詳細は右記にてご覧いただけます <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/jyuyouinfura/index.html>

長野県内の主要事業



ちくまがわ
千曲川 堤防強化対策の推進
ながの ながの やしま
長野県長野市（屋島地区）

H30補正事業費
426百万円※1

※1:千曲川河川改修事業のH30補正全体事業費

事業の概要

千曲川左岸の長野市屋島地区の堤防は、浸透に対する安全度が低く、洪水により堤防が決壊した場合、甚大な被害が発生するおそれがあります。

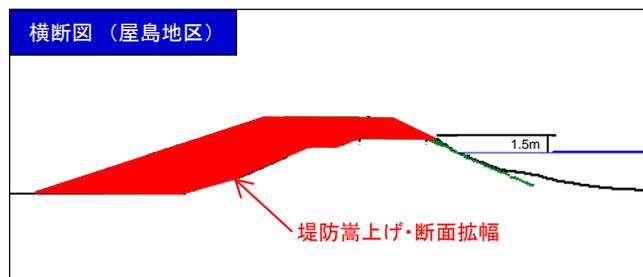
このため、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」(※2)の「全国の河川における堤防決壊時の危険性に関する緊急対策(堤防)」の一環として、引き続き堤防強化対策を推進します。

整備効果

堤防強化対策の推進により、千曲川の治水安全度を向上させます。

平成30年度補正予算の事業内容

屋島地区の堤防強化対策を推進します。



※2:「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」

➤ 詳細は右記にてご覧いただけます <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/jyuyouinfura/index.html>

しなのがわ じょうりゅう
信濃川上流水系直轄砂防事業の推進

ながの まつもと さかがわ
長野県松本市(境川溪流保全工)

H30補正事業費
151百万円

事業の概要

信濃川上流水系は、近年の豪雨等により溪流等が荒廃し不安定な土砂・流木が残存するなど、災害の危険性が高まっています。

このため、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」(※)の「全国の中小河川における土砂・洪水氾濫等の危険性に関する緊急対策」の一環として、砂防設備の整備を推進し、土砂流出等の抑制を図ります。

整備効果

砂防堰堤等の整備により、土砂・洪水氾濫等から保全対象の安全が確保され、土砂災害に対する安全性を向上させます。

平成30年度補正予算の事業内容

補正予算により、土砂・洪水氾濫対策等を実施し、早期に地域の安全性の向上を図ります。



位置図



昭和58年9月28日、台風10号による集中豪雨

※:「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」

➤ 詳細は右記にてご覧いただけます <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/jyuyouinfura/index.html>

信濃川下流水系直轄砂防事業の推進

ながの しもみのち さかえ なかつがわ
長野県下水内郡栄村(中津川上流砂防堰堤群)

H30補正事業費
134百万円

事業の概要

信濃川下流水系は、近年の豪雨等により溪流等が荒廃し不安定な土砂・流木が残存するなど、災害の危険性が高まっています。

このため、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」(※)の「全国のインフラ・ライフラインの土砂災害に関する緊急対策」の一環として、砂防設備の整備を推進し、土砂流出等の抑制を図ります。

整備効果

砂防堰堤等の整備により、インフラ・ライフラインに対する土砂災害による被害が防止され、安全性を向上させます。

平成30年度補正予算の事業内容

補正予算により、土砂・洪水氾濫対策等を実施し、早期に地域の安全性の向上を図ります。



位置図



苗場山西斜面の大崩壊地



下流の屋敷集落

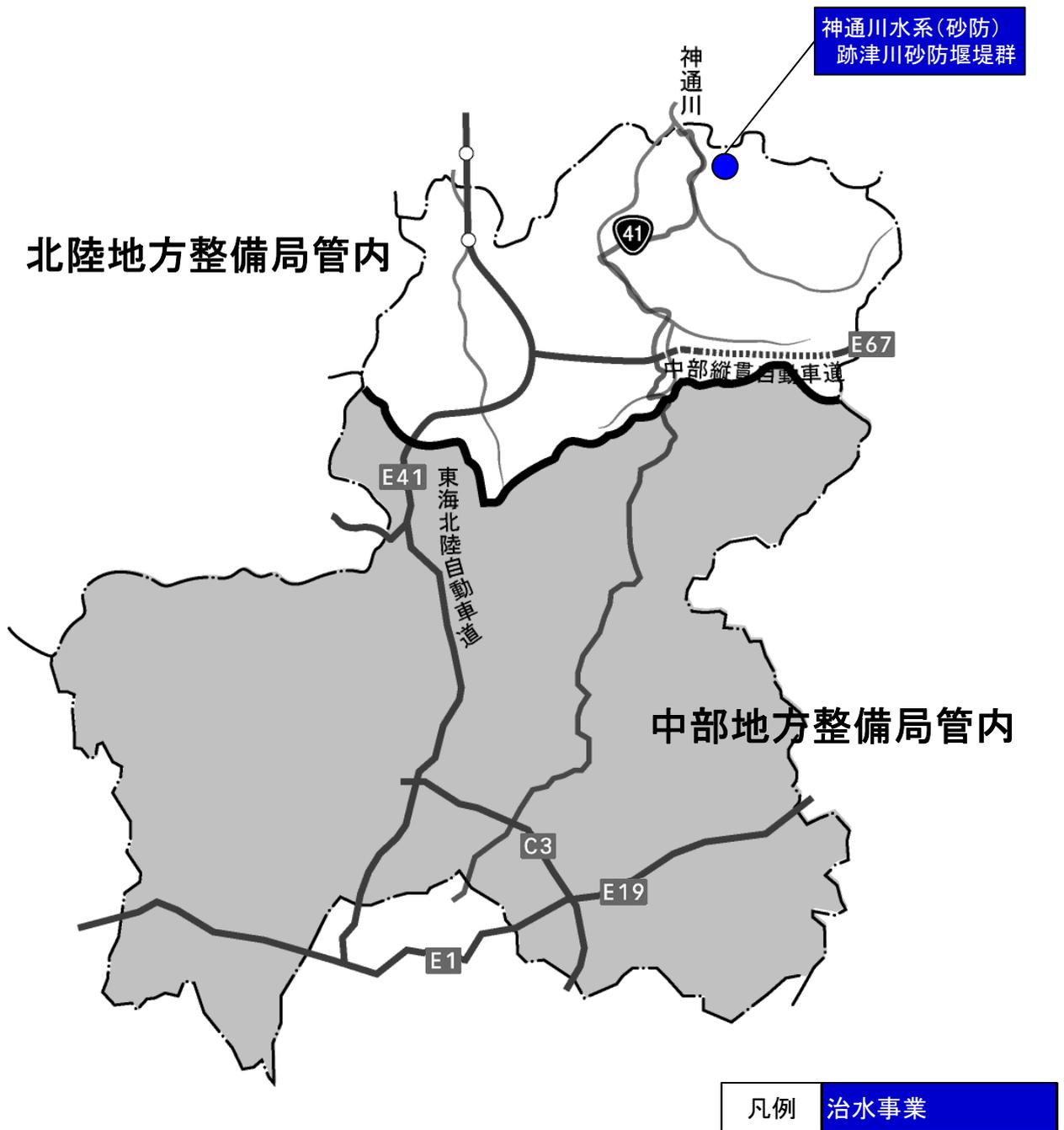


中津川上流第1号砂防堰堤計画地

※:「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」

➤ 詳細は右記にてご覧いただけます <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/jyuyouinfura/index.html>

岐阜県内の主要事業



じんづうがわ
神通川水系直轄砂防事業の推進
ぎふ ひだ あとつがわ
岐阜県飛騨市(跡津川砂防堰堤群)

H30補正事業費
145百万円

事業の概要

神通川水系は、近年の豪雨等により溪流等が荒廃し不安定な土砂・流木が残存するなど、災害の危険性が高まっています。

このため、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」(※)の「中小河川緊急治水対策プロジェクト(土砂・流木対策)」の一環として、砂防設備の整備を推進し、土砂流出等の抑制を図ります。

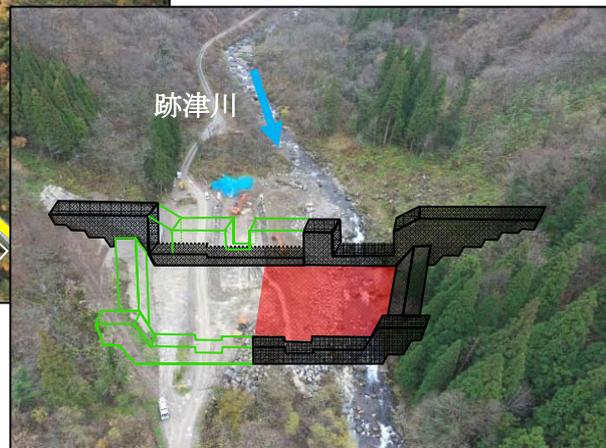
整備効果

砂防堰堤等の整備により、保全対象に対する土砂・流木を伴う洪水による被害が防止され、安全性を向上させます。

平成30年度補正予算の事業内容

補正予算により、土砂・洪水氾濫対策等を実施し、早期に地域の安全性の向上を図ります。

位置図

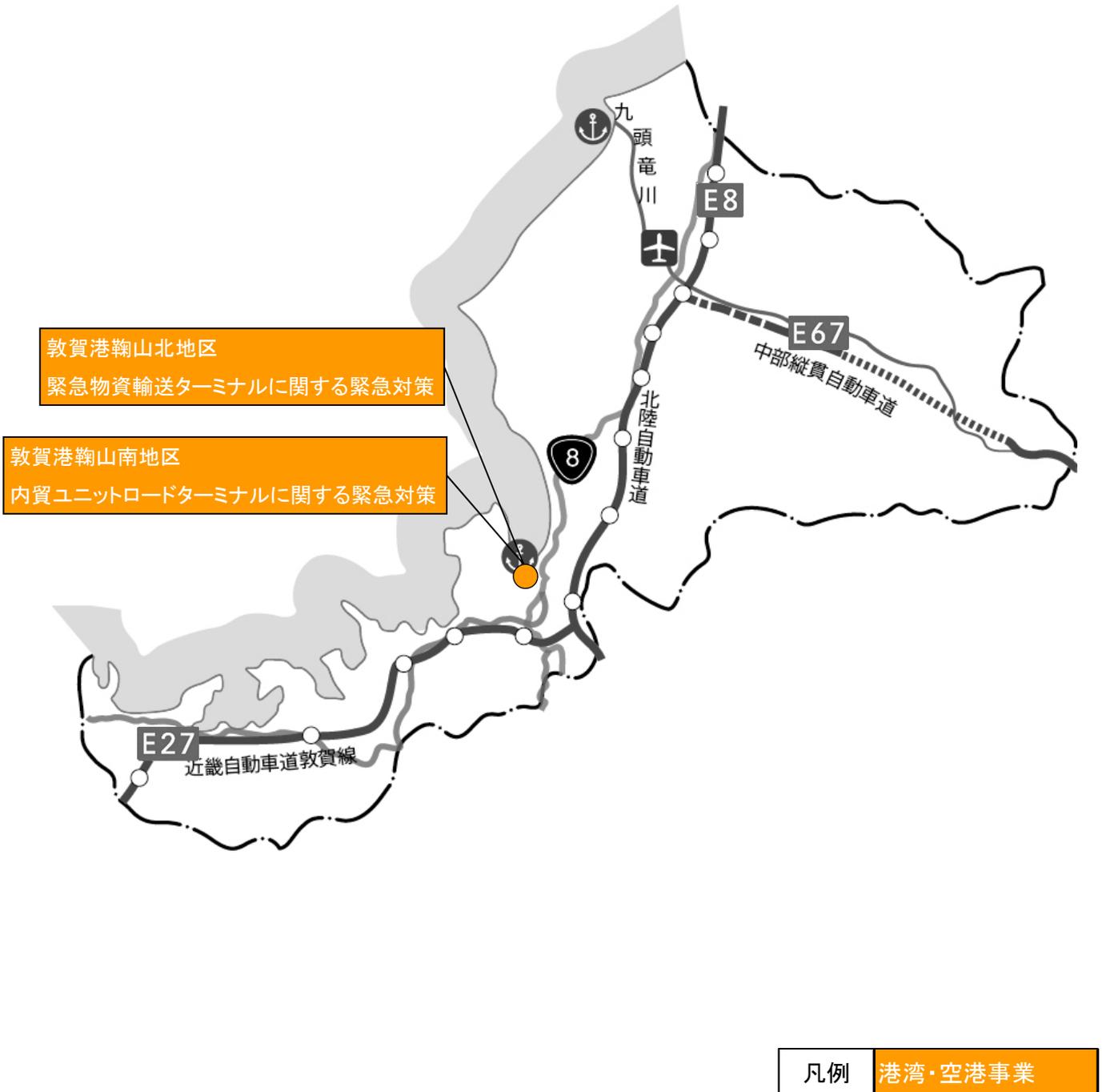


跡津川上流砂防堰堤

※:「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」

➤ 詳細は右記にてご覧いただけます <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/jyuyouinfura/index.html>

福井県内の主要事業



つるが まりやまきた
敦賀港 鞠山北地区
緊急物資輸送ターミナルに関する緊急対策

ふくい つるが
福井県敦賀市

H30補正事業費
210百万円

事業の概要

重要インフラの緊急点検を行った結果、地震時の緊急物資輸送に十分対応できない恐れがある等の課題があるため、緊急対策として耐震強化岸壁の整備を実施します。

整備効果

耐震強化岸壁の整備により、大規模地震時に緊急支援物資の輸送が妨げられることを防止します。

平成30年度補正予算の事業内容

補正予算の充当により、耐震強化岸壁の整備を実施します。

【位置図】



つるが まりやまみなみ
敦賀港 鞠山南地区
内貿ユニットロードターミナルに関する緊急対策

ふくい つるが
福井県敦賀市

H30補正事業費
2,300百万円

事業の概要

重要インフラの緊急点検を行った結果、地震リスク等の課題があるため、緊急対策として耐震性が確保される岸壁の整備を実施します。

整備効果

耐震性が確保される岸壁の整備により、大規模地震時において港湾機能が停止することを防止します。

平成30年度補正予算の事業内容

補正予算の充当により、岸壁の整備を実施します。

【位置図】



その他の主要事業

洪水等により被害を受けた河川管理施設の補修等

北陸地方整備局管内

事業の概要

平成30年7月豪雨出水をはじめ、平成30年度に発生した台風や豪雨等により、被害を受けた堤防・護岸及び観測施設等の河川管理施設を補修します。

整備効果

被災した堤防、護岸及び観測施設の補修を行うことで、必要な機能を回復させ、洪水時の安全性を確保します。

平成30年度補正予算の事業内容

洪水被害軽減のため、機能が低下した堤防、護岸及び観測施設などの河川管理施設の補修を実施します。

① 堤防法面修繕



亀裂が発生した堤防法面を修繕

② 護岸修繕



洪水で破損した護岸を補修し、機能を回復



欠損した河岸に根固めブロックを設置し保護

③ 観測施設の補修



洪水時に流失・破損した観測施設を補修し、機能の回復を図る

防災のための重要インフラ等の機能維持

北陸地方整備局管内

事業の概要

平成30年7月豪雨、平成30年台風21号、北海道胆振東部地震等、最近の災害に鑑み実施された「重要インフラ総点検」の結果を踏まえとりまとめられた「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」(※)の一環として、樹木伐採、土砂掘削等を実施します。

整備効果

樹木伐採、土砂掘削を行うことで近年の主要洪水等に対して氾濫の防止、最小化等を図ります。

平成30年度補正予算の事業内容

大規模な浸水による被害の防止、最小化等のため、河道内の樹木伐採、土砂掘削を実施するとともに、出水時における水文観測・監視施設の基盤強化を図ります。

① 河川における洪水時の危険性に関する緊急対策（河道等）

氾濫による危険性の高い等の区間において樹木伐採・土砂掘削を行い氾濫の危険性を概ね解消



(土砂掘削のイメージ)

(樹木伐採のイメージ)

② 水文観測・監視施設の緊急対策

水文観測所の浸水対策

監視施設の夜間監視
不良対策

(浸水対策のイメージ)



浸水や停電により、観測・監視ができなくなる重要な観測所、監視施設の解消を図る。

③ 災害対策用通信機器の増強

大容量移動無線（i-RAS及び公共BB無線）の配備

大容量移動無線（i-RAS(アイラス/災害対策用無線アクセスシステム)及び公共BB無線(ブロードバンド)無線)



災害発生時の監視・通信基盤の強化を図る。

※：「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」

➤ 詳細は右記にてご覧いただけます <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/jyuyouinfura/index.html>

簡易型河川監視カメラの設置を推進

北陸地方整備局管内

事業の概要

平成30年7月豪雨では、氾濫等により西日本を中心に甚大な被害が発生しました。国土交通省では、簡易型河川監視カメラの開発を進めており、洪水に対するリスクが高い区間での氾濫等の状況を把握するなど、従来の水位情報だけでは伝わりにくい「切迫性」のある分かりやすい危険情報を提供する必要があります。

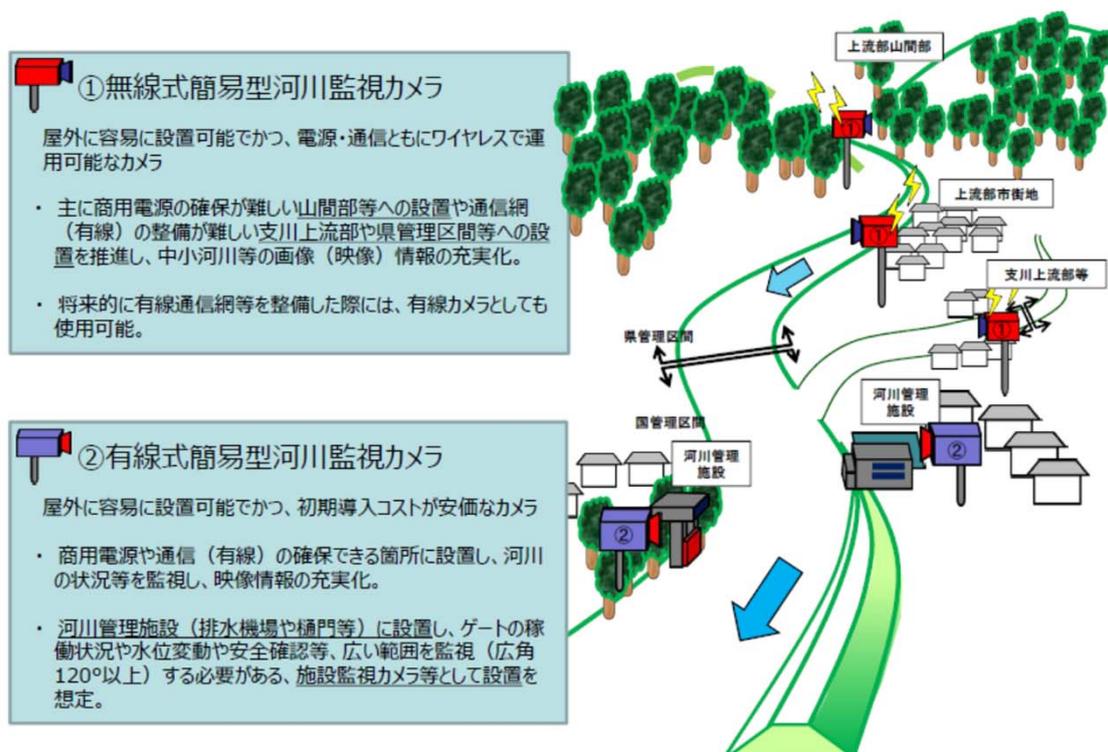
このため、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」(※1)の「河川情報の提供方法・手段等に関する緊急対策」の一環として、簡易型河川監視カメラの設置を推進します。

整備効果

簡易型河川監視カメラを設置することにより、地域住民の円滑な避難の促進を図ります。

平成30年度補正予算の事業内容

北陸地方整備局管内に簡易型河川監視カメラの設置を推進します。



簡易型河川監視カメラのイメージ

※1:「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」

▶ 詳細は右記にてご覧いただけます <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/jyuyouinfura/index.html>

火山噴火緊急減災対策砂防計画の策定等 及び同計画に基づく緊急対策 北陸地方整備局管内

事業の概要

平成30年草津白根山の噴火では、想定火口以外からの火山噴火が発生し、死者、負傷者が出る被害が生じました。

このため、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」(※)の「全国の火山における火山噴火緊急減災対策砂防計画の策定等及び同計画に基づく緊急対策」の一環として、必要な緊急対策(火山噴火緊急減災対策砂防計画の策定、航空レーザ測量データの取得)を実施します。

整備効果

噴火時の緊急的な対応の円滑化を図り、噴火災害に起因する土砂災害の軽減を目指します。

平成30年度補正予算の事業内容

北陸地方整備局管内の4火山において、火山噴火緊急減災対策砂防計画の策定のため検討の推進、航空レーザ測量データの取得を実施します。

①火山噴火緊急減災対策砂防計画の策定

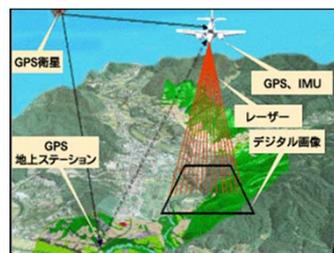
火山噴火時に発生が想定される土砂災害による被害を軽減するため、ハード・ソフト対策からなる火山噴火時の緊急対応を定めた火山噴火緊急減災対策砂防計画の検討を実施します。



火山噴火緊急減災対策砂防のイメージ

②航空レーザ測量データの取得

平常時からの準備事項として火山活動による地形変化等を把握し、緊急的な対策を検討するための基礎資料とするために、1mメッシュで未取得の火山において、航空レーザ測量データの取得を実施します。



航空レーザ計測のイメージ

※:「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」

➤ 詳細は右記にてご覧いただけます <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/jyuyouinfura/index.html>

北陸直轄ダム しんすいそうていず 浸水想定図の作成

さぐりがわ 三国川ダム他

事業の概要

異常豪雨発生時等の緊急時の地域住民の安全性の確保のためには、より住民目線に立ったダムに関する情報提供が必要となります。

このため、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」(※)の「河川情報の提供方法・手段等に関する緊急対策」の一環として、ダム下流の浸水想定図の作成を行います。

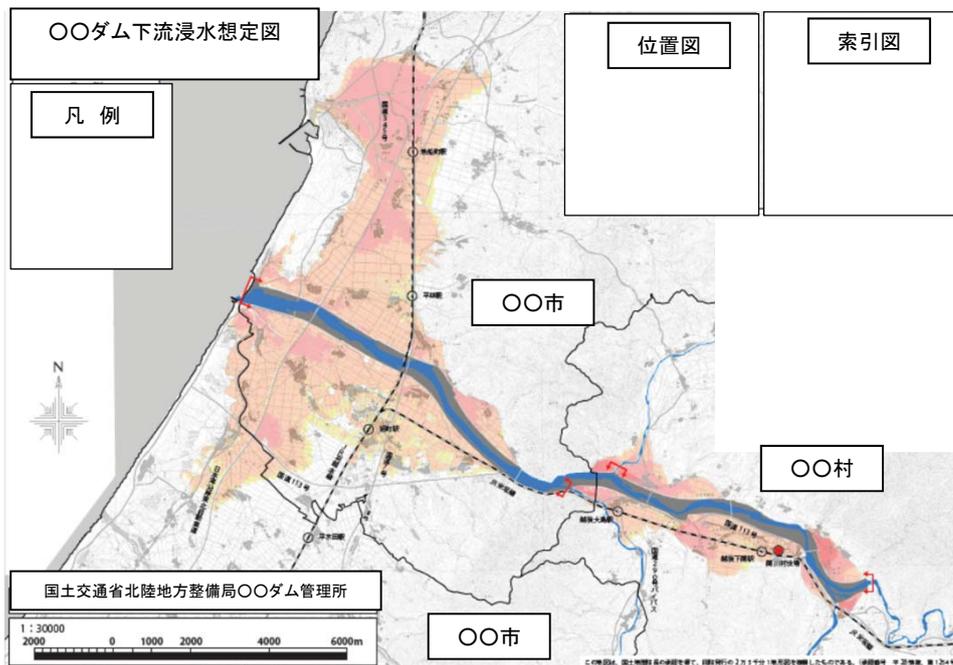
整備効果

ダム下流の浸水想定図を作成し、地域住民に情報提供を行うことにより、異常豪雨発生時等の緊急時の地域住民の安全性の確保を図ります。

平成30年度補正予算の事業内容

補正予算の充当により、ダム下流の浸水想定図を作成します。

浸水想定図イメージ



※:「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」

➤ 詳細は右記にてご覧いただけます <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/jyuyouinfura/index.html>

防災・減災、国土強靱化のための緊急対策 法面・盛土 北陸地方整備局管内

事業の概要

豪雨により土砂災害等が発生するリスクを回避するため、落石崩壊等のおそれのある箇所において法面対策を実施することで、道路法面・盛土等に関する緊急対策などを推進します。

平成30年度補正予算の事業内容

法面・盛土対策



(対策イメージ : ワイヤーロープ掛工)



(対策イメージ : ロープネット工)

防災・減災、国土強靱化のための緊急対策

冠水

北陸地方整備局管内

事業の概要

排水能力が不十分で豪雨により冠水が想定される箇所において、排水構造物修繕工事及び舗装修繕工事を実施することで、道路の排水施設等に関する緊急対策を推進します。

平成30年度補正予算の事業内容

冠水対策



(対策イメージ : 側溝更新、舗装勾配修正)

防災・減災、国土強靱化のための緊急対策 豪雪 北陸地方整備局管内

事業の概要

平成30年豪雪による道路上での車両滞留の発生をふまえ、大規模な車両滞留リスクが判明した箇所に対して待避場所等を整備し、車両滞留の抑制を図ります。

平成30年度補正予算の事業内容

待避場所の整備

大規模な車両滞留に対応するため、待避場所を整備し、車両滞留の解消を図ります。



(車両滞留の発生状況)



(待避場所の整備イメージ)

除雪機械の増強

大雪による立ち往生車両発生を抑制するため、また、発生した立ち往生車両を排除するため、除雪機械を増強して体制を強化します。



(体制を強化し、立ち往生車両発生を抑制)



(立ち往生車両の牽引状況)

道路の老朽化対策の推進

北陸地方整備局管内

事業の概要

道路の老朽化対策

老朽化により損傷が進行している橋梁・トンネル等の道路構造物について、補修を前倒して実施することで、安全・安心で信頼性の高い道路ネットワークの確保を図ります。

平成30年度補正予算の事業内容

道路の老朽化対策

<橋梁>



(鋼部材の腐食)



(修繕：あて板による補修)

<横断歩道橋>



(床版の板厚減少を伴う腐食)



(修繕：床版の当て板補修)